

書評

[評者]
中澤 港
神戸大学大学院保健学研究
科教授



EZR でやさしく学ぶ統計学 EBMの実践から臨床研究まで 神田善伸 著

A5判 頁336 2012年
定価 4,830 円(本体 4,600 円+税 5%)
[ISBN978-4-498-10900-1] 中外医学社刊

Windows でも MacOS X でも Linux でも動作し、信頼性が高いため、今や世界標準となりつつあるデータ解析フリーソフト R は、Rcmdr という追加パッケージによってメニューから操作できるようになるが、サンプルサイズの設計やメタアナリシスといった技法は Rcmdr のメニューになかったし、生存時間解析にもプラグインを追加する必要があった。医療統計で用いられるこれらの手法の多くをメニュー操作できるように Rcmdr に機能追加し、R 本体も含めて再パッケージ化することでインストールを容易にしたものが EZR である。本書には CD-R も添付されているが、著者の web サイトから常に最新版を入手でき、インストール後は起動アイコンをダブルクリックするだけで R 本体と同時に EZR まで起動するように作られている点が便利である。

通常、「アクティブデータセット」というメニューでデータハンドリングし(第6章)、「グラフ」でさま

ざまなグラフを作り、「統計解析」というメニューでデータ解析を行う。EZ R の最大の特徴として、統計解析の体系がデータの種類(尺度の性質)ごとに整理されている点が挙げられる。このことにより、EZ R はきわめて実践的なデータ解析環境となっている。例えば、一般の教科書とは違って、クロス集計による独立性の検定も、対応のある2群の割合を比較するマクネマー検定も、ロジスティック回帰分析も、同じ「名義変数の解析」というメニュー(第7章)から選択できる。しかも、本書はたんなる EZ R の操作マニュアルではなく、解析方法の仕組みや意味まで書かれており、実行例として示されているデータも著者自身がすでに研究し論文として受理されたものに基づいているので、医学統計演習の教科書としても使えるし、リファレンスとして引用することもできる。Rcmdr のカスタマイズの方法まで1章が割かれており、中級以上の R ユーザーであっても勉強になる点が多い良書である。